

国宝彦根城天守の耐震対策による安全確保及び文化財保護

概要 要：滋賀県彦根市の彦根城天守で耐震補強工事を実施。これにより、最大震度6強が想定される南海トラフ地震発生時でも大きな被害は生じない見込みであり、施設利用者の安全性確保、文化財的価値の維持が可能となっている。

対策名：20-2 国指定文化財等の防火・耐震対策(耐震対策) <5か年加速化対策>【文化庁】

- **実施主体**：滋賀県彦根市
- **実施場所**：滋賀県彦根市
- **事業概要**：滋賀県彦根市に所在する国宝彦根城天守は、慶長11年(1606年)に建造されたわが国城郭建築の代表的遺構の一つで、多数の見学者が訪れている(令和5年度実績：651,149人)。

彦根市は、南海トラフ地震発生時には最大震度6強の揺れと建造物の倒壊被害が想定されているため、城郭天守の耐震補強を行っている。

本事業では、土壁や建具位置での構造用合板による補強、鋼製ケーブルによる水平構面補強、見学者の出入り口となっている石垣内部の鉄骨フレームによる安全対策工事を実施中である。(令和6年度完了予定)

- **事業費**：7,309万円

主な事業	事業費	実施期間
耐震対策工事	約7千万円	R4~R6
うち5か年加速化対策	約1千万円	R4

- **想定している災害、効果見込み**：

- 耐震対策の実施により、南海トラフ地震発生時でも当該施設において大きな被害は生じない見込みであり、施設利用者の安全性確保や文化財的価値の維持が可能となるほか、見学施設としての活用が継続できることにより、経済効果の安定的な確保も見込まれている。



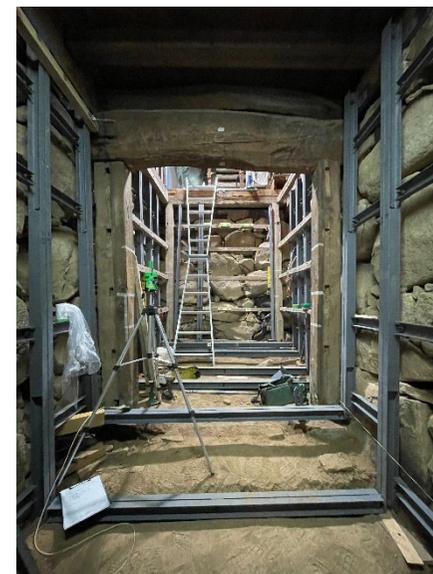
彦根城天守 外観



土壁位置での構造用合板補強



鋼製ケーブルによる
水平構面補強



鉄骨フレームによる
石垣出入口部の安全対策工事